

問1 ()の中をうめなさい

- ① 2023 年度において透析導入で多い原疾患は1位 (糖尿病性腎症)、2位腎硬化症、3位慢性糸球体腎炎である。
- ② ネフローゼ症候群の診断基準はタンパク尿、(血中脂質増加)、浮腫、脂質異常症である。
- ③ 腹膜透析の合併症である腹膜炎の主な症状・兆候は (排尿混濁) と (腹痛) である。
- ④ 血液透析の原理は (拡散) と限外濾過である。
- ⑤ DW (ドライウエイト) が50kgであれば中1日の体重増加は (1.5) kg以内が理想である。
- ⑥ 浮腫とは組織の (間質) に過剰な体液が貯留した状態である。
- ⑦ 急性腎不全は腎前性、腎性、(腎後性) に分けられる。

- 2

問2 次の文を読み正しいものに○、間違っているものに×をつけなさい

- ① 透析療法は腎臓の働きを全て代行できる (×)
- ② 日本では献腎移植より生体腎移植の方が多い (×)
- ③ 慢性腎不全は高たんぱく食が必要である (×)
- ④ 高カリウム血症になると心臓が停止することがある (○)
- ⑤ 腎移植後、移植腎が機能していれば免疫抑制薬を飲む必要はない (○)
- ⑥ 不均衡症候群を予防するためには効率を抑えた透析を行う (○)
- ⑦ 腹膜透析は無菌操作が必要である (○)
- ⑧ 腹膜透析のメリットは社会復帰がしやすいことである (○)
- ⑨ 急性腎不全になると腎機能の回復の可能性はない (×)
- ⑩ 浮腫がある皮膚は菲薄で外力による損傷を受けやすい (○)
- ⑪ 腹膜透析は厳しいカリウム制限が必要である (×)
- ⑫ 窒息の場合はアルカローシスに傾く (×)

- 2

問3 正しいのはどれか書きなさい

①腎前性腎不全が起こるのはどれか

1. 前立腺肥大症
2. 急性心筋梗塞
3. 急性尿細管壊死
4. 急性糸球体腎炎

(2)

②維持期の腹膜透析で正しいのはどれか

1. 透析は週に2、3回行う
2. 血液透析よりも食事制限は少ない
3. 心血管系への負担が血液透析より大きい
4. 終了後はカテーテルを抜去する

(2)

問4 腎臓の役割を3つ書きなさい

- 体液の調整
- 電解質の調整
- ホルモン分泌 (エリスロポエチン)

問5 ステロイドの副作用を3つ書きなさい

- 高血糖
- 白内障、緑内障
- 感染症

問6 次の文を読み問題1~3に答えよ。

Aさん(47歳、男性、会社員)は妻と2人暮らしで、自宅の室内で犬を飼っている。15年前に慢性糸球体腎炎と診断され、徐々に腎機能低下が認められたので、2年前から慢性腎不全のため血液透析療法を週3回受けている。今回、弟から腎臓の提供の申し出があり、生体腎移植の目的で入院した。入院3日、Aさんの生体腎移植手術は予定通り終了した。

問題1

Aさんの手術直後に観察すべき項目で優先度が高いのはどれか。

1. 尿量
2. 血糖値
3. 白血球数
4. シャント音

(3)

- 2

問題2

Aさんは術前からタクロリムスなど複数の免疫抑制薬を服用している。Aさんは「移植したら免疫抑制薬を飲む必要があることは分かっているのですが、退院後は何に気を付ければよいですか」と看護師に質問した。Aさんへの看護師の説明で適切なのはどれか。

1. 「犬は今まで通り室内で飼育できます」
2. 「グレープフルーツは摂取しないでください」
3. 「感染予防のため風疹のワクチン接種をしてください」
4. 「薬を飲み忘れたときは2回分をまとめて服用してください」

(2)

問題3

Aさんは順調に回復し、移植後の拒絶反応もなく退院することになった。Aさんは「腎臓が悪くなってから気を付けないといけないことが多かったのですが、移植してこれまでの制約がなくなりますね」と話した。Aさんの退院後の生活で継続が必要なのはどれか。

1. 蛋白質の摂取制限
2. 週3回の通院
3. 水分の制限
4. 体重の管理

(4)